



芳賀・宇都宮LRT

交通未来都市うつのみや

HELLO, NEW CITY.

未来へ進むライトライン



ライトラインを動かしているのは私たちです！

8月の開業に向けて鋭意準備中！宇都宮ライトレール株式会社

LRTの車両や停留場を含む施設・設備は、宇都宮市・芳賀町が保有していますが、運営するのは民間企業の「宇都宮ライトレール株式会社」。どんな思いで開業準備に取り組んでいるのかご紹介します。



[LRT運転士] 嶋田 剛士

**快適な乗車時間のために
運転士たち一丸となって
取り組んでいます！**

これまで、東京都内の鉄道会社で電車の検査を行う車両係や駅係員として勤務していました。以前から興味を持っていた宇都宮ライトレールで運転士を募集しているというニュースを目にして、すぐに応募しました。

当社の社員は経歴も出身も様々なので、それぞれが培ってきた経験をもとに、いろいろなアイデアを活かしてより安全で快適な輸送サービスを提供していきたいです。



現在の仕事内容は？

富山地方鉄道への出向も終え、現在は開業後の運転に向けた準備をしています。他の運転士たちへライトラインの構造や使い方をレクチャーするのが主な仕事の一つです。



開業に向けて、利用者や市民へのメッセージをお願いします！

運転士は、お客様の生命と財産を預かる、責任の大きい仕事だと感じています。今後は、実際の営業を想定して行う習熟運転などを通じて、お客様が快適な乗車時間を過ごしていただけるよう努めてまいります。宇都宮ライトレール社員一同、皆様のご乗車をお待ちしております！



ライトラインの理解を深める宇都宮ライトレールの運転士たち。

憧れだった
運転士の夢が
叶いました！



富山地方鉄道へ出向し
実際の運行を学ぶ。35
年振りの大雪を経験
するなど、雪国なら
ではの苦労も。
(写真は富山地
方鉄道出向時
のもの)



地元の路線開業のために 経験で得た全てを活かしたい!

鉄道事業者や電気設備関連の企業で、技術者として歩んできました。そんな中、宇都宮ライトレールの技術者募集を知り、技術者としてとても魅力のある仕事だと思いました。LRT開業の準備に携われることは、まさに今しかできないことですから。この新たな人生の挑戦ができるのは、「やってみたいことがあるなら行動してみて」と後押ししてくれた妻の理解と支えがあってこそ! 様々な現場で培ってきた技術や経験を、この地元に還元できるよう精一杯業務にあたっています。

1つのミスで感電の恐れがあるため常に緊張感のある大変な仕事ですが、一つひとつの作業がLRTの運行につながっていることを実感でき、大きなモチベーションになっています。

皆さんの安全・安心を第一に万全の準備で開業を迎えるよう、引き続き電気設備の維持管理に取り組んでいきます!



信号表示も一つひとつチェック!



感電の他、高所での作業など常にリスクを伴う。全ての動作に細心の注意を払わなければならない。



Q 運行を支えている!と手応えを感じたことは?

初めての本線試運転の時でした。信号が示す方向へライトラインが正確に進行した時は本当に感動しました!日々の地道な電気設備の維持管理業務が報われた思いです。

Q 仕事の取り組み方で大切にしていることは?

ほとんどはチーム作業であるので、社員同士の連携が仕事の進捗に大きく影響します。だから、しっかりコミュニケーションを取りながら業務を遂行することが重要だと考えています。

◆電気転轍機の点検作業の様子。転轍機はライトラインが意図した方向へ進行するためのとても重要な部分です。

市民のみんなで選んだデザインが受賞!

ライトラインが「JIDAデザインミュージアムセレクション」に選定されました

受賞トロフィー→

芳賀・宇都宮LRT車両ライトラインが「JIDAデザインミュージアムセレクションVol.24」に選定され、1月20日に選定授与式が行われました。(230件の推薦から54件選定)公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)が「美しく豊かな生活を目指して」をテーマに1998年から開催しています。

審査委員コメント(一部抜粋)

「車両も市民の声を反映し、滑らかな曲線と程よいスピード感のあるデザインであり、雷の多い地域性を取り込んだカラーリングが地域の方々にも愛されるものになっている。地域の活性化が期待でき、走行風景を見るのも楽しみである。」



◆受賞式の様子



◆デザイン案投票の様子
みなさんからいただいた16,000票の応募から、現在のライトラインのデザインに決定しました。